THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA



2021~2022

Weekly Report

名古屋みなと

承 認 1966年 5月12日 例会日 金曜日12:30

例会場 名古屋マリオットアソシアホテル

事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023

E-Mail office@portnagoya-rc.com

URL http//www.portnagoya-rc.com 会 長 栢森 雅勝 幹 事 岡田 雅

広報・雑誌・会報委員長 長瀬 廣幸

SERVE TO CHANGE LIVES. 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために R.I. 会長 シェカール・メータ



第 2624 回例会 No.21

2022年(令和4年)4月15日(金) 曇 「それでこそロータリー」

創立 56 周年記念例会

出席報告

会員 57 名中 出席 42 名 出席率 73.68% ○スピーカー 第 36 代会長 中村 吉夫君

会長挨拶

会長 栢森 雅勝君



科学の起源

1. 科学はギリシアで始まった

科学とは、世界を理解・説明する試みである。

現在は、科学とは宇宙の原理を説明するもので、神や人とは無関係で客観的なものであると捉えられている。

しかし身の回りに起こる現象を説明するのに、神や人 と無関係に説明しようとする試みは、ギリシア時代ま でなかった。

ギリシアの自然科学・哲学は、紀元前 600 年ごろの タレス、紀元前 400 年ごろのソクラテス、プラトン へと知の巨人たちによって受け継がれていった。他の 物事と比較して考えてみると、自然科学の起源はずっと遅く、科学がいかに希有な知識であったことが分かる。



最古の都市は、紀元前 4000~3500 年頃にメソポタ ミアに登場した城塞都市ウルクがある。

青銅器は、メソポタミア・エジプテでは紀元前 3500 年ごろ、中国では紀元前 3000~2000 年ごろに 登場した。

最古の文字は、紀元前 3400 年に見られ、様々な言語で利用されて紀元前 1 世紀ごろまで使われた楔形文字

と、紀元前 3200 年ごろから西暦 100 年ごろまでエ ジプト語で使われた象形文字がある。

最古の国家は、紀元前 3150 年ごろ上エジプトと下エジプトが統一されてできた王政国家である。

鉄器は、紀元前 2500~2100 年頃、ヒッタイト民族(現トルコ)で製鉄されていた。

最古の法律は、紀元前 2100 年前後にシュメール語 で記されたウル・ナンム法典である。

それは、著名なハンムラビ法典よりも 350 年程度古い。

2. 科学は弱く消滅しやすい

ギリシアを中心に受け継がれてきた科学は、ギリシアの次にプトレマイオス朝エジプトのアレクサンドリアに中心が移る。アレクサンドリアではギリシア時代と異なり、様々な実用に即した分野が起こり、発明家が現れた。この地で科学者アルキメデスが登場した。

アレクサンドリアを中心とした科学は、

ローマ帝国がプトレマイオス朝を紀元前 31 年に併合したときに終わる。



次にギリシア科学が注目を受けるのは、イスラム帝国が地中海を覆うように拡大したウマイヤ朝(661~750年)のバクダッドがギリシア科学の学者たちの亡命先となり、次のアッバース朝(750~1258年)時代にギリシア語の科学書が次々とアラブ語に翻訳された。このアラブ科学の時代、天文学・数学が大いに発展した。のちに、ヨーロッパに科学が伝わり、現在の様々な言葉にその影響が残っている。記数法のアラビア数字(※実際はインド発祥)。代数学のアルジェブラ。問題の解き方のアルゴリズムという言葉などである。アラブの科学の転機となったのは、1258年にモンゴルがバグダッドを蹂躙し、アッバース朝を滅ぼしたことである。もっともアッバース朝が支配していた時代はそれ以前に衰退していた。

3. 科学のタネはヨーロッパへ

アラブ社会での科学発展の後、科学が受け継がれたのはヨーロッパであった。ローマ帝国崩壊後、ヨーロッパは度重なる外敵の侵入にあっていたが、それが収まった 10 世紀ごろからヨーロッパは復興し始めた。政治と宗教の二重構造による支配の時代であったが、知識や学問はキリスト教の教会に集まり、そこは教える場ともなっていた。

そのような 10 世紀半ばから当初はアラビア語による 古代の科学者の著作が翻訳されるようになり、12 世 紀に入ると古代ギリシア語で書かれた原典から中世ヨ ーロッパで使われていたラテン語に直接翻訳されるよ うになった。

4. 天動説と地動説

現在の科学につながる大きな変化は、16~17世紀の ヨーロッパで起こった。コペルニクス的と表現される が、天動説から地動説へ向かう理論がコペルニクスに よって発表された。天文学が科学発展の舞台となった のは、暦に関係する天文学は重要な分野で研究が続け られていて、詳細な多くの観測記録があるからであ る。

今の視点では天動説が支持される理由は理解しにくいが、当時の天文学とは天体の位置を計算する手法であり、天動説でも地動説でも計算結果が良く合う理論が良い理論であった。

コペルニクスの地動説は天文の計算に役立つ手法として使われていたが惑星が円軌道を通る計算では誤差を消すことができなかった。ティコの精密な観測結果を受けてケプラーは惑星の軌道を楕円軌道(第一法則)とし、また惑星の運行速度は一定ではなく、太陽からの距離で変化する(第二法則)を見いだした。そして、惑星の周期(公転周期)の二乗は長半径の三乗に比例する(第三法則)と記述した。このケプラーの理論に基づく天文表は、従来の天文表よりもはるかに正確であった。

しかし、地動説が計算上のものではなく真実であるという考え方は、教会との間でトラブルとなり、1600年にジョルダーノ・ブルーノが処刑され、自作の望遠鏡を天体に使い、天文学においていくつもの発見をしたガリレオもまた異端裁判を受けた。そして1616年コペルニクスの著書「天体の回転について」は禁書となった。





5. 科学に革命を起こしたニュートン

17世紀の科学には、ひとつの変化が起きていた。自然の現象や法則を理解し、証明するために実験が行われるようになった。ガリレオは望遠鏡を使い、ホイヘンスは振り子を使って重力加速度を割り出した、またトリチェリは水銀と長いガラス管を使って大気圧を測定した。ボイルはトリチェリの実験をさらに押し進め、空気の圧力と体積の関係「ボイルの法則」を導き出した。

ニュートンは 1643 年イングランド東部リンカンシャーに生まれた。19 歳の 1661 年からケンブリッジで学び始めたが、ペストの流行によって 1965 年に帰郷。ニュートンの素晴らしい数々の成果は、この時期に行われている。それは光学、数学、力学であった。



1687 年ニュートンは「プリンキピア」を出版した。 この「プリンキピア」の中では、運動の三法則が述べられていて、質量・速度・加速度・力の関係が説明され、運動について述べられている。そしてまた、天体の運動もまた運動の三法則に従っていると結論づけた。ここにより、地上の出来事と天体の出来事が結びつけられ、同じ法則で説明出来ることとなった。

ニュートンは「プリンキピア」によって運動と万有 引力について述べたが、それは様々な現象をシンプル な数学的原理によって説明する物理理論を作り上げた と言える。

ここに至り、科学は哲学や宗教の範囲を超えて、実験により検証し、数学によって記述する現代につながる科学が始まったのである。



参考図書

- ・「科学の発見」スティーブン・ワインバーグ著 分系春秋発行
- ・「人類と科学の 400 万年史」
 レナード・ムロディナウ著 川出文庫発行

卓話「ロータリーの想い出」

第36代会長 中村 吉夫君

(クラブ創立 56 周年、おめでとうございます。 名古屋みなとロータリークラブの益々の発展をお 祈り申し上げます) 名誉会員 杉浦弘君 (名古屋みなと RC 創立 56 周年おめでとうござい ます。これからも長く続くことを願っています) 栢森会長

(本日、中村君の卓話楽しみにしています) 岡田幹事

(昨日、わが社の創立 40 周年を無事むかえまし た。感謝!) 芹澤君 (何でもやってみる同好会のバスツアー楽しかっ たです。ありがとうございました) 岩佐君 (橋本さん、何でも同好会ありがとう。野崎君、 ワインおいしかったです) 渡辺君 (先週の何でもやってみる同好会の参加の皆様に は大変お世話になりました) (常滑カートでは、チーム永ちゃんの皆様優勝お めでとうございました。大変美味しいワインを賞 品として頂きました。栢森会長ありがとうござい ました。又、レースでは鈴木君、寺本君に接触し 申し訳ございませんでした) (この度は、名古屋みなとロータリークラブ及び 会員の皆様より多大なご支援を頂きありがとうご ざいました。) (何でもやってみる同好会、たくさんのご参加あ りがとうございました!天気にも恵まれて楽しい 1日になりました) 橋本(美)さん (藤原君、加藤(昌)君、お仕事ありがとうござい ました!) 藤掛君

> 本日合計 60,000 円 累 計 980,000 円

(先日の常滑ツアー楽しめました。ありがとうご

幹事報告

ざいました)

岡田 雅君

大平君

① ウクライナの人道支援寄付金の受付が本日までと なりますので、ご支援いただける方は、事務局ま でお願いいたします。

56 周年記念例会乾杯挨拶

第 48 代会長 岩佐 信機君



本日はクラブの周年例会で、小生に高令者としての入会時より今日迄の想い出話しをと大変光栄に存じますが、10年ひと昔といいます。30数年も過ぎているのを思い出しながら文にするのは大変、年寄りはボケて記憶が定かでないので、原稿のいらないスピーチなら受けるけど、本当に大変です。又、元来私は過ぎたことは一切忘れる事にしていますので、人生そのものが夢。役職の時に起きたことだけを前後抜けるかもわかりませんが、想い出話しをします。

当クラブに入会は、昭和 63 年 8 月 19 日。それまでは、仕事と地域の民生での奉仕をしていましたので、今更また「奉仕」とも思いましたが、義理での入会、当初は $4\sim5$ 名が同日に私と同じような気持ちで入会し、 $2\sim3$ 年後には退会する事にしていました。しかい、今残っているのは私 1 人に!

当初は親睦委員が 20 名位いて、3 班に分かれて活動をしていました。100 数十人の大所帯で当時の先輩は軍隊経験者も多く、指導も指示も大変厳しく、戦争、空襲、焼け野原を経験した我々でも頭に来る様な事はいくどもありましたが、ロータリアンは必ず言われたら引き受けると当初から言われていたので我慢して活動していました。当クラブが例会変更の場合、他クラブからメイキャップに来る人の受付を担当し、多い日には140名を超える時もあり、少ない時でも70名を下回る事がありませんでした。又、会員家族の葬儀の時は、今程式場がなく、吹雪の通夜の受付は、テントにストーブで吹き抜けで立っていた時の寒さは今も忘れることができません。

当クラブの地区大会は、ロータリーも花ざかり、当クラブも先輩も勢いがあり、来場者を 2500 人、予算が 2800 万円、終わればこれを大きく超過、赤字穴埋めを翌年の年会費に上乗せしました。しかし、次年度からの他クラブの地区大会は質素な大会になり、以後他 クラブで当クラブを超える地区大会はありませんでした。

又、私も3年で退会する事にしていたのに、3年目の5月に副幹事をと言われ、親睦しか務めた事がないのに、また私を紹介した先輩もいるのに、それを出し抜いて出来る訳もないし、絶対に受ける事はできないと

思っておりました。しかし、もう一人の紹介者が会長を引き受けるから是非と言われました。また、今断ると 100 数十年後しか役がまわってこないよ、の殺し文句に副幹事を引き受けることになりました。その地区大会の 2500 名の出席者を募る為に、まだ4年目でロータリーの事が判っていないのに、一人で奥三河の農協の会議室を例会場にしているクラブに、飯田線に乗ってクラブ全員出席のお願いに行きました。何を話したか今も覚えていません。人手が足りないから、お前一人で行ってくれ、でした。今日では想像がつきませんが、先方では大歓迎を受け、精神的に救われました。

幹事になってからの記憶に残っているのは、例会変更の忘年家族会で参加者が340名位になり、今までの会場には入りきらず、他の場所に移して誠に盛大に、又、参加者全員に満足していただき大成功でした。ですが、翌年の1月に例会場の方から、行事を持ち出され、面子が丸つぶれ!もうここから出て行ってくれと大変な勢いでした。色々手を打ってもらったけどダメ、他の会場を当たっても、当時は日本も景気がよく、皆断られて、ようやく料理が美味しい所がみつかりホッとしていたところ、歴代会長会議に掛けてもらったら「駐車場が魚臭いからダメ!」の一言で、御破算になりました。そして、その長老達がホテル側と話をつけてくれて、一件落着となりました。始めから繋がっていた!?向こうも売り上げが落ちるし、振り回されていたのが若手でした。これも勉強!!

ルール面では、名札を従来の丸形から長方形にし、名 前と役職名を入れ替えるだけにし、毎年物書屋に書い てもらっていたのをやめて改善しました。

S.A.A.に会場の雑音をなくすために、「静粛に」の立札を持って例会場を廻ってもらうことをしました。また、釣りクラブを設立しました(今は夜釣り専門に変わりましたが)。又、うまいもの食べ歩き旅行会設立は、一年もちませんでした。奥様への誕生日に花のプレゼントは会員に花屋さんがいたので、これを活用し実施しました。

今も続いている年末のイベントの景品は、私達の親睦 委員会の時に、当時はまだ家庭用品が乏しい頃でした ので、バッタ屋から値切って買って来て、会場に陳列 し来場者に好評を受け、以降品物は変わったが継続し ています。ロータリアンの夜釣りも、これにて、ご婦 人が寛大になったと思います。

幹事が終わり2年位して、副会長にと言われ、ある程度流れは見てきたので気軽と思っておりましたが、当クラブが大所帯の137名になり、夏は例会場が天井が低く空調があまり効かず暑くて大変。そこへJRが新しくホテルを建てるニュースが流れ、新しいホテルに移ってはの声が高まり、当時の会長が交渉を始められ、色々な諸問題とともに時間も流れ、また結局最後は先方と個人の話になり、会長では事が前に進まないから、お前が交渉しろ、になり、前回の追い出された

件もあり、難問題。そしてまた JR のホテルも受け入れを OK してくれませんでした。両方とも、窓口が開いていない状況でした。まず、受け入れ側を当時はホテルの工事のトップがクラブの先輩でしたので、話をし、ホテル側にコネを作ってもらい、出る方の話を強力に押しの一手で解決し、現在の例会場を先輩の力を借りて確保することができました。諸君がいま気楽に座っているけど、大変な裏があったことを忘れないでほしい。

会長になってからは、クラブの運営費の件で会費の全体の3分の1が事務管理に消えているので、現在117名の会員がいるけど、これからも会員数は減少の一途をたどるだろうし、事務量も少なくなるから、事務員に退職金を支払う等で、本人にも了解をとりつけました。

同じホテルの他クラブの会長とも話し合い、事務所を ひとつにして、それで浮いたお金を行事に生かしてい くという案もありましたが、会長職が1年なので、大 きくは改革できませんでした。

それから、間もなくして先輩から、今のルートでクラブを運営していたら、このクラブからガバナーが推薦できないからと、以後、幹事経験のない人が会長に推薦されるようになりました。確かに、2760地区でガバナーが出ていないのはこのクラブだけです。

当時、会長会議で会長候補2名選出する事になっていました。頼んで候補になってもらってるのに「Bさんはダメでした」何て言ったら、頼まれて出たのにダメなら始めから頼むな、断られる人の気持ちを配慮して、以降は1人の推薦になりました。

会長職の時は、この位の話しとして、もうこれでロータリーとはさらば、と退会届を出しました。事務員もホッとしたと思います。然し後輩の会員さん達に連名で退会撤回をさせられ、今日に至ります。

その時、可愛い後輩に

「キッチャン、葬式の時に何人来るか試したの!?」 と言われました。

以上、

ロータリーの想い出をお話させていただきました。

第2回「何でもやってみる同好会」報告

橋本 美穂さん

■■常滑バスツアー■■

「ゴーカートといちご狩り

まとめてやってみよう!!]

開催日:4月10日(日)

行先:シーサイドサーキット(ゴーカート) サンセットウォーカーヒル(ランチ)

いちご狩り(フルーツループ)

ワイナリーツアー

(常滑ワイナリーネイバーフッド)

参加者: メンバー18名

パートナー6 名 お子様・お孫様 5 名

ハイゴック君夫妻

計 31 名

第2回目となる「何でもやってみる同好会」は、常滑で「ゴーカートといちご狩り」という、この会ならではのオリジナルツアーを企画しました。

サーキットでは6チーム(各4名)に分かれて、練習 走行と決勝を開催。

走れば走るほどみんなの眼光が輝きを増し、抜きつ抜かれつの激しい攻防。時にはスピンやクラッシュありの大混戦となりました。

見事優勝に輝いたのは「チームエイチャン(岩佐・藤原・栢森会長・加藤昌)」でしたが、「会長にはハンデが必要だ!」との物言いがつき、準優勝の「チームナカケン(三枝樹奥様・柳澤・中井・山田章)」も優勝へ格上げ。この2チームには、会長から常滑ワイン等レストラン「サンセットウォーカーヒル」オリジナルグッズをプレゼントしていただきました。

大人レースの合間にジュニアタイムを設け、子供たち も大人顔負けのコーナリングを見せてくれました。

ランチを挟んでいちご狩りとワイナリーツアーのオプション企画。いちごは予想以上の甘さと大きさ、ワイナリーツアーの方では野崎さんの計らいでスパークリングワインが追加され5種類の常滑ワインを堪能されたそうです。

米山奨学生だったハイゴック君夫妻も参加。7月には 女の子が誕生されるそうで、とても幸せそうでした。 皆様のおかげで、天気にも恵まれ、怪我もなく、多く のメンバーでとても楽しい一日を過ごすことが出来ま した。ありがとうございました! (一部敬称略)











公益財団法人ロータリー米山紀念奨学会マンスリーニュース ノハイライトよねやま

Vol. 265 2022年4月13日 発行

1. 2022 学年度の奨学生

2022 学年度の奨学生は昨年度より 10 人滅の 900 人となりました。新規採用者 619 人、継続 者 281 人です (4月8日現在)。国・地域別に



みると、中国41.8%、ベトナム15.6%、韓国10.0%、マレーシア6.1%、台湾4.2%の順で
っ、プログラム別では、学部・修士・博士課程
奨学金が850人(学部430人、修生218人、博
士 202人)、地区奨励奨学金16人、クラブ支援
奨学金8人、海外学女会推薦奨学金3人、海外
応募者対象奨学金23人となっています。4月
末までに各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションが、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロー
タリーについて理解してもらう場です。確約書
に署名をした後、正式に米山奨学生となりま
す。どうぞ温かくお迎えください。

2. 巣立った奨学生へ - カウンセラーからのメッセージ-

米山奨学生のカウンセラーには年に 2 回、所見の提出をお願いしています。今回はその中から、今年 3 月に 卒業した中国出身の米山奨学生、 μ が らんのカウンセラーを務めた松 林 茂会員(東京セントラルRC)からのメッセージを紹介します。

くカウンセラーからのメッセージ>

2 年間、当クラブでお世話をしたロウセンさんの卒業にあたり、カウンセラーとして最後の 報告をします。2 年間とはいえコロナで例会も 途切れがちとなり、ロウセンさんに対して十分 な配慮ができたかどうか、自責の念にとらわれ ます。体感としては8カ月ぐらいしかお世話で きていない感じです。他の会員にしても同じよ うな感覚ではないでしょうか。 3月の例会卓話では、彼女が東京大学 大学院博士課程で醸造について学ん できたことを、われわれにわかりやす く解説してくれる予定でした。コロナ の影響でそれも叶わず残念です。大昔、 ロウセンさんの故郷・中国から日本に 伝わった酵母。これを使った醸造によ

り作られた味噌・醤油・お酒は、日本の食文 化に欠かせないものです。若いロウセンさんが その中国から日本に勉強に平られていること に、先人たちの色々な交流の果てにわれわれが 今を生きていることを実感します。

卒業後の彼女の進路がどのようなものにな ろうとも、日本の良き理解者として、中国との 懸け橋として、今後大いに活躍されることを祈 っています。

3. 寄付金速報 ― 今年度初めて前年同期比増へ

3 月までの寄付金は前年同期と比べて 0.1% 増(普通寄付金:0.9%減、特別寄付金:0.6%増入 約50万円の増加となりました。今年度に入り、 前年同期よりも寄付累計額が増額になったのは 初めでで、少しずつではありますが回復傾向に あります。ロータリアン皆さまからのご支援に 厚く御礼申し上げます。まだコロナ感染者数も 減少せず、不安な日々が続いていますが、これ からもご協力を賜りますようよろしくお願いい たします。

4. 東京米山ロータリー E クラブが創立 10 周年

米山学友を中心とする国内初のEクラブ、東 京米山ロータリーEクラブ 2750 の創立 10 周年 オンライン記念例会が 3 月 20 日に開催され した。事前に登録したロータリアンや米山学友 奨学生など海外からの参加を含む総勢 100 人ほ どが出席。同クラブ会員やゲストが一部会場に 集まり、そのほか約 70 人が 200M で参加するハ イブリッド形式で進行されました。

肖慧潔会長 (2008-09/東京白金RC) は挟拶 の冒頭で、新型コロナウイルスや戦争によって 命を落とした人々を追悼し、黙祷を捧げました。 ついて、関 博子クラブ特別代表の挟拶、三浦 属ーガバナーからの祝辞がありました。

記念式典の目玉は「未来を担う子ども違」を テーマとするパネルディスカッション。ファシ リテーターの長崎 智香子さん、パネリストの コイララ アシュマさん (東京井の頭R C)、沈 佳琦さん (東京副作R C)、張沁瑩さん (東京 サ央R C) (はいずれも同クラブ会員です。パネ リストはそれぞれ、サマーキャンプやミャンマー・ネパールにおける教育支援、日本在住であ りながら日本語が話せない子どもへの支援な ど各自の活動を紹介。最後にプレイクアウトセ ッションがあり、普段のEクラブ例会の交流体 験が行われました。

現在、同クラブは会員37人(ほか名誉会員1 人)、会員の出身国は7つの国・地域から構成されています。今後も若いパワーを生かし、クラブがますます発展することを祈念しています。



5. ウクライナの米山学友は今

ウクライナ出身の米山学友はこれまでに 12 人。そのうちの 1 人、『ロータリーの友』 2021 年 2 月号の「よねやまだより」に掲載されたテチ アナ・セゾネンコさん (2017-19/大阪城南 R C) の近況を紹介します。

戦争勃発後、それまで製剤化学者として農



り、最も弱い立場にいる人々のために、赤ち やんのオムツや粉ミルク、衛生用品、食料、 飲料水 ペットフードなどの生活必需品を送 る活動を始めました。時には足りない薬を探 しに奔走し自費で購入することも。文字通り 昼夜を問わず奮闘する日々を送っています。 彼女の世話クラブである大阪城南RCも、会 員や米山学友から寄せられた義援金を送金し たということです。テチアナさんは次のよう に語りました。「ロータリーの皆さんからのお 金は難民の支援に充てています。私は首都キ ーウ (キエフ) から 80km ほど離れた所にい て、破壊された町から逃げてきた人々の手助 けをしています。一番の願いは小さな子ども たちが普通の生活を送れる日々を取り戻すこ とです。私の心はウクライナとともにありま す。一日でも早く、明るい日が来てほしい。 ウクライナから希望をこめて」

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281 E-mail:highlight@rotary-yoneyama.or.jp URL:http://www.rotary-yoneyama.or.jp/ 編集担当:野津(のづ)・長尾(ながお)

A		今後の例会予定
4	22	例会変更 4/23・4/24 WFF 例会 4/23(土)10 時~
	29	休会
5	6	休会
	13	港友例会及び 地区研修協議会報告 17F「コスモス」
	20	卓話 17F「コスモス」
	27	例会変更→【中止】 5/21~5/22 県外例会 休会
6	3	第3回クラブフォーラム 17F「コスモス」
	10	卓話 17F「コスモス」
	17	退任挨拶 17F「コスモス」
	24	休会